

リプロダクティブヘルス	2年・前期	2単位 30時間	教授 堀金幸栄 他
科目カテゴリー	看護提供のあり方	科目ナンバリング	33310842

1. 授業のねらい・概要

本科目は、学生が周産期（妊娠・分娩・産褥）における母性の身体的・心理的・社会的特徴を捉え、対象のニーズについて理解し、順調に経過するための援助や健康問題への援助について学習する。さらに、胎児・新生児の身体的特徴を踏まえて健康状態を把握し、胎外生活への適応促進のための看護について理解できるようになることを目的とする。

2. 学修の到達目標

1. 妊娠のメカニズムについて説明できる。(D-2)
2. 妊娠による女性の身体的変化および精神心・社会的変化について説明できる。(D-2)
3. 胎児の発育・発達について説明できる。(D-2)
4. 妊婦健康診査および妊娠中の保健指導の必要性和内容について説明できる。(D-2)
5. 分娩のメカニズムについて説明できる。(D-2)
6. 分娩各期の看護について説明できる。(D-2)
7. 異常妊娠・分娩の看護について説明できる。(D-2)
8. 産褥のメカニズムについて説明できる。(D-2)
9. 産褥期の看護について説明できる。(D-2)
10. 新生児の発育・発達について説明できる。(D-2)
11. 新生児の看護について説明できる。(D-2)

3. 授業の進め方

講義と演習を中心に授業を進める。視聴覚教材による対象の特徴の理解を深め、教科書のQRコードから看護技術の実際を学ぶ。

【アクティブラーニングの実施の有無】

演習の事前課題として教科書のQRコードから看護技術の実際を予習する。

【ICT活用の有無】

視聴覚教材の使用や教科書のQRコードや動画から看護技術の実際を学ぶ。

4. 授業計画（講義・演習）

回	授業内容	授業形態	事前事後学修（学修課題）	担当
1	妊娠のメカニズム・母体の生理的变化	講義	予習：教科書①p34～38, 43～54「妊娠の定義と妊娠の成立」「胎児の成長」「妊娠の生理と不快症状」を読む。	堀金幸栄

	胎児の発育と健康状態・妊娠期の心理		復習：妊娠に伴う母体の変化と不快症状，胎児期の発育と胎児付属物についてまとめる。	
2	妊娠期における看護	講義	予習：教科書①p62～89「妊婦と家族の心理社会的変化」「健康維持のためのセルフマネジメント」「出産と子育て準備」を読む。 復習：妊婦の心理社会的変化と健康維持のための看護についてまとめる。	堀金
3	妊娠期の異常と看護	講義	予習：教科書①p94～128「妊娠期の異常」を読む。 復習：妊娠期の異常と看護についてまとめる。	堀金
4	妊婦と胎児のアセスメント①	講義	予習：教科書①p55～68「妊婦と胎児のアセスメント」「出産を控えた妊婦と家族の心理社会的変化と看護」を読む。 復習：教科書①とレジュメをまとめる。	堀金
5	妊婦と胎児のアセスメント②	講義	予習：教科書①p69～90「妊娠期の健康維持のためのセルフマネジメント」「出産と子育ての準備のための看護」を読む。 復習：教科書①とレジュメをまとめる。	堀金
6	分娩の生理と異常	講義	予習：教科書①p130～154「分娩の生理」「産婦と胎児のアセスメント」を読む。 p168～205「分娩の異常」を読む。 復習：教科書①とレジュメをまとめる。	堀金
7	分娩各期の看護	講義	予習：教科書①p154～165「産婦のニーズと看護」「産婦と家族の心理」を読む。 復習：教科書①とレジュメをまとめる。	堀金
8	分娩期の異常と看護	講義	予習：教科書①p167～198「分娩期の異常ーアセスメントのポイント，実際のケア」，p198～205「産科処置と手術の看護」を読む。 復習：教科書①とレジュメをまとめる。	堀金
9	産褥期の看護① 演習内容の説明・演習事前課題	講義	予習：教科書②p208～215「産褥期の定義」「産褥の生理」，p264～269「産褥期の出血・血栓症」「産褥期の感染症」を読む。 復習：教科書②とレジュメをまとめる。	倉林梢
10	産褥期の看護②	講義	予習：教科書②p216～218「産褥の生理」，p226～234「褥婦の日常生活とセルフケアを支える看護」，p241～248「乳房の構造と機能・乳汁分泌メカニズム」を読む。 復習：教科書②とレジュメをまとめる。	倉林
11	新生児の看護①	講義	予習：教科書②p295～318「新生児の生理」「新生児のアセスメント」を読む。 復習：教科書②とレジュメをまとめる。	倉林
12	新生児の看護②	講義	予習：教科書②p320～342「新生児期における消化器系の異常」「新生児期における代謝の適応不全」「早産児・低出生体重児」を読む。 復習：教科書②とレジュメをまとめる。	倉林
13	演習：周産期の看護技術	演習	予習：教科書②p39～43「子宮底長・子宮底高・腹囲」P62～67「聴診(胎児心音)」	倉林

			p136～138「レオポルド触診法」p154～159「胎児心拍陣痛図(CTG)」を読む。動画マークの付いている箇所は動画を視聴する。 復習：看護技術の要点をまとめる。	堀金 他
14	演習：周産期の看護技術	演習	予習：教科書②p39～43「子宮底長・子宮底高・腹囲」P62～67「聴診(胎児心音)」p136～138「レオポルド触診法」p154～159「胎児心拍陣痛図(CTG)」を読む。動画マークの付いている箇所は動画を視聴する。 復習：看護技術の要点をまとめる。	倉林堀金 他
15	周産期の看護と演習のまとめ	講義 演習	予習：レジュメや教科書②を参考に演習技術について評価が低かったところを確認しておく。 復習：配布した周産期看護のまとめと課題資料を参考にポイントを整理する。	堀金 倉林

5. 成績評価の方法・基準

定期試験（受験資格は3分の2以上の出席した者）80%， 演習事前課題・演習後レポート20%で総合的に評価する。演習事前課題・演習後レポートについては講義内で別途資料を示し説明する。成績評価は、本科目の学修目標に示した評価観点毎に、ルーブリック評価とする。ルーブリック評価に関する詳細は講義内で別途説明する。定期試験の出題範囲及び出題方法等は事前に口頭で説明する。合格基準（60%）に満たない場合は単位認定できない。

6. テキスト・参考文献

教科書：1) 小林康江 他（2023）ナーシンググラフィカ 母性看護学② 母性看護の実践（最新版），メディカ出版
2) 石村由利子 他：（2026）根拠と事故防止からみた母性看護技術第3版（最新版），医学書院
参考文献：森恵美 他（2026）系統看護学講座 母性看護学[2] 母性看護学各論（最新版），医学書院

7. 準備学習に必要な時間，又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

授業の範囲をテキストで最低90分以上の予習をして臨み，授業内容について90分以上の復習を行うこと。

8. 受講上の留意事項

母性看護学実習では実際に母子を受け持たせてもらうため，しっかり学ばないと事故につながる。予習復習を行ない欠席なく授業に参加すること。

9. 課題に対するフィードバックの方法

提出された課題は教員が内容を確認して返却する。内容の不備のあるものは再提出を求める。
試験終了後口頭で試験問題の解答と解説を行う。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり，修得出来ない場合進級不可となる。

11. 該当する本授業は，以下の実務経験を活かして実施される

医療機関における助産師としての実務経験を活かして，講義・演習を行う。